

令和8年5月22日
国土交通省関東地方整備局
長野国道事務所

工事発注手続きについて

～「R8国道19号長野市安庭歩道整備他工事」の発注手続きを行います～

長野国道事務所が発注する「R8国道19号長野市安庭歩道整備他工事」において、不調・不落対策等を試行、採用します。

工事発注において予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予想される工事について、不調・不落対策等を試行、採用しています。

今回発注する「R8国道19号長野市安庭歩道整備他工事」については、以下のとおり不調・不落対策等を試行、採用します。

【不調・不落対策等】

1. 公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）企業実績評価型
2. 競争参加資格の緩和
3. 難工事指定
4. 余裕期間制度（フレックス方式）
5. 施工箇所が点在する工事の積算

※詳細は次頁をご覧ください。

<発表記者クラブ>

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 長野県庁会見場 長野市政記者クラブ 長野市政記者会

<問い合わせ先>

関東地方整備局 長野国道事務所

電話：026-264-7001（代表） メールアドレス: ktr-madoguchi-nagano@ki.mlit.go.jp

副所長 榎本（えのもと）（内線：205）

保全対策官 植野（うえの）（内線：406）

《工事概要》

- (1) 工事名：R8国道19号長野市安庭歩道整備他工事
- (2) 工事場所：長野県長野市信更町安庭地先
ながのけんながのしんこうまちやすにわ
- (3) 工期：全体工期 契約締結日の翌日から令和9年3月31日
- (4) 入札方式：公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）企業実績評価型
- (5) 工事種別：一般土木 C等級
- (6) 工事内容（概要）

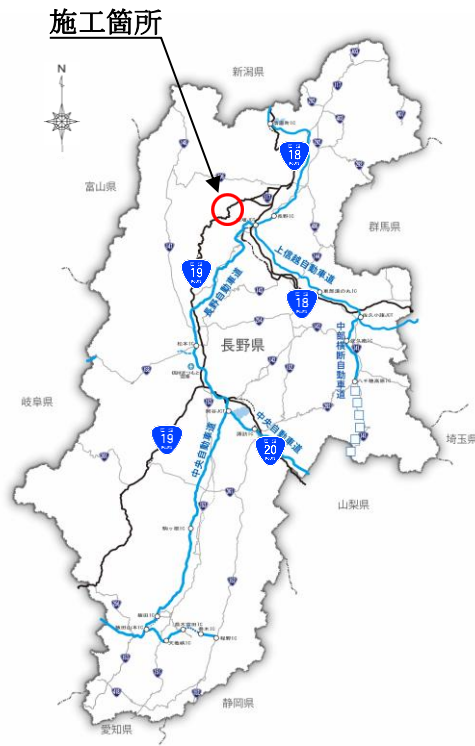
【安庭1工区】

- ・道路土工 約410m³
- ・車道舗装工 約390m²
- ・歩道舗装工 約640m²
- ・出入口舗装工 約150m²
- ・すりつけ歩道 約180m²
- ・切削オーバーレイ工(t=5cm) 約2,200m²
- ・擁壁工 約90m
- ・排水構造物工 約350m
- ・集水枿 1箇所
- ・縁石工 約440m
- ・防護柵工 約80m
- ・標識工 1基
- ・区画線工 約850m
- ・道路附属施設工 1箇所
- ・道路照明設備工 2基
- ・構造物撤去工 一式

【安庭2工区】

- ・切削オーバーレイ工(t=10cm) 約500m²
- ・区画線工 約150m

■ 工事概要図

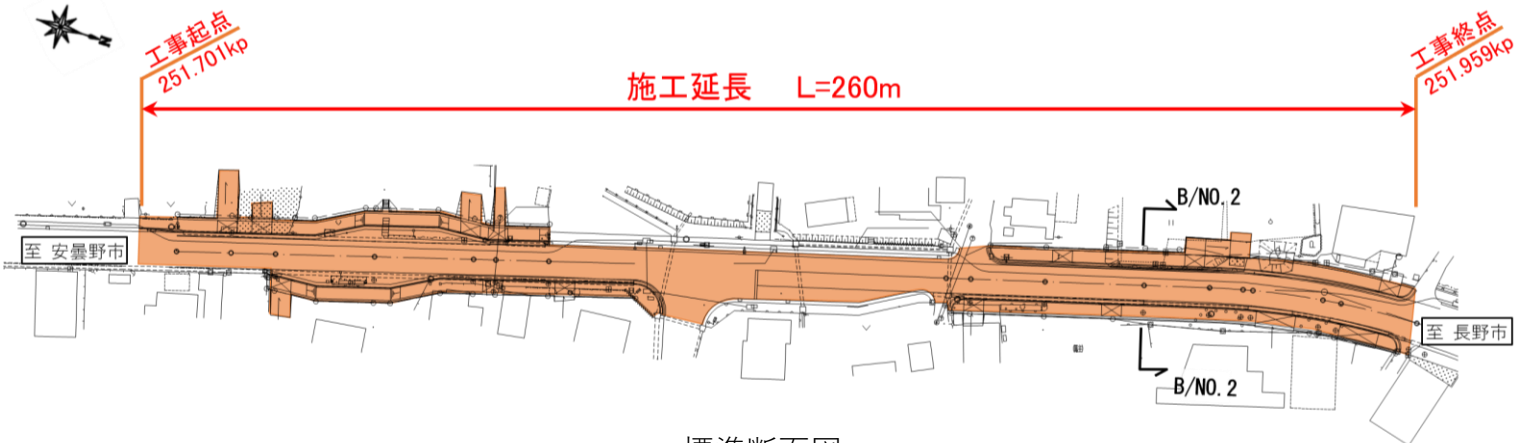


位置図



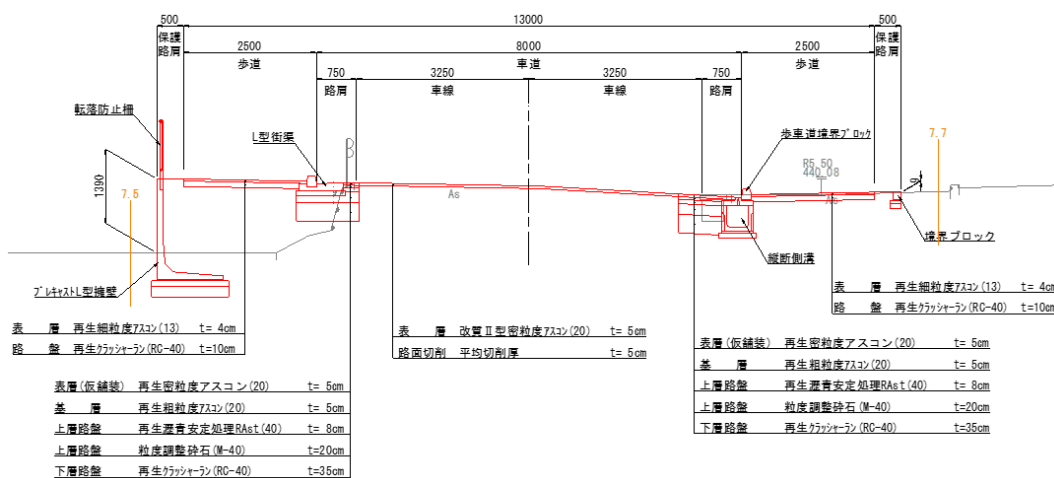
①安庭1工区

平面図



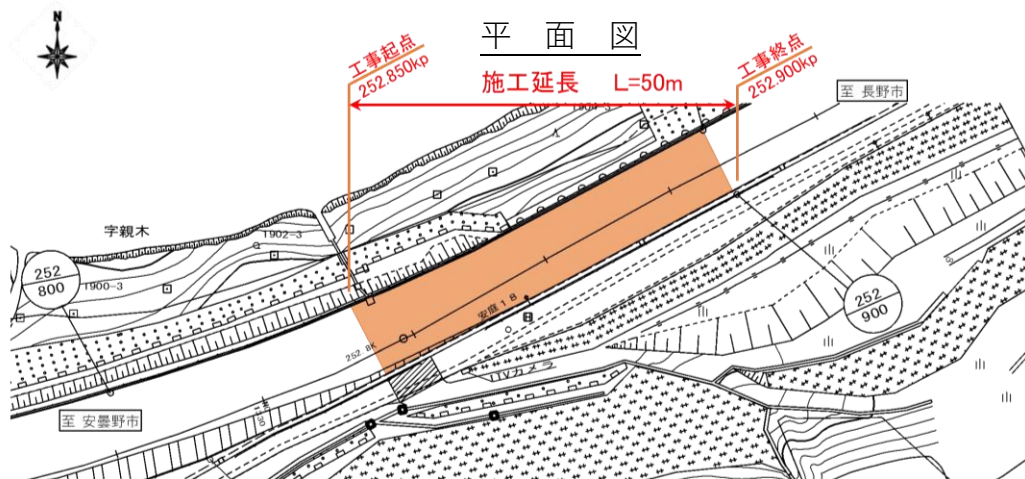
標準断面図

B/NO. 2



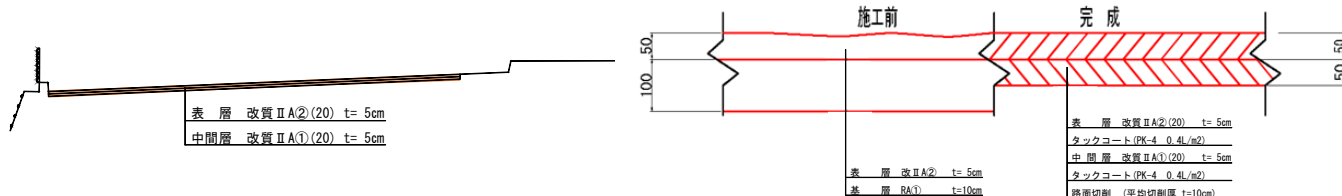
②安庭2工区

平面図



標準断面図

切削オーバーレイ工



《不調・不落対策等》

1. 公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）企業実績評価型

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について、試行するものです。

特徴は次のとおりです。なお、公共工事の実績のない企業でも参加しやすい方式となっています。

1) 競争参加時に配置予定技術者の申請は不要です。

（参加要件として配置予定技術者の工事経験の設定はありません。）

2) 総合評価における加算点の評価対象は、企業における防災に係る取組姿勢、同種工事の施工実績、本発注工事に対応する工事種別の手持ち工事量及び賃上げの実施、ワーク・ライフ・バランス関連認定企業の評価を加算点としています。

3) 過去の工事成績や表彰実績、配置予定技術者の技術力は評価対象としません。

2. 競争参加資格の緩和

1) 企業に求める施工実績の緩和

企業に求める施工実績を「擁壁を施工した工事であること」に限定せず、「コンクリート構造物を施工した工事であること」として緩和します。

3. 難工事指定

本工事は、国道19号現道上での作業となり、交通規制を行いながら車道舗装等を施工することから、厳しい安全管理が必要であるため、「難工事」の指定を実施します。

「難工事」指定された工事は、完成時に70点以上の工事成績評定を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加点対象となります。なお、主任（監理）技術者または現場代理人として従事した経験について、審査基準日の月以前の4年間が評価対象となります。

4. 余裕期間制度（フレックス方式）

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、契約時に令和9年3月31日までの間で、受注者は工事の始期及び終期を任意に設定することができます。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

5. 施工箇所が点在する工事の積算について

施工箇所が点在する工事の積算について、建設機械を複数箇所に運搬する費用や交通規制等がそれぞれの箇所で発生するなど、積算額と実際にかかる費用に乖離が考えられることから、共通仮設費、現場管理費を箇所毎に算出する「施工箇所が点在する工事の積算」を採用します。

本工事の地区は、安庭1工区、安庭2工区とし詳細は下図のとおりです。

位置図



《スケジュール》

○入札公告、入札説明書交付	: 令和 8年 5月 22日 (金)
○技術資料等の提出期限	: 令和 8年 6月 2日 (火)
○入札書・工事費内訳書の提出期限	: 令和 8年 7月 3日 (金)
○開札日	: 令和 8年 7月 8日 (水)

公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式・企業実績評価型)の試行について

【メリット】

- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
- ✓ 手続期間の短縮
→指名通知から決定まで2週間程度
- ✓ **総合評価落札方式・企業実績評価型**
→企業における防災に係る取組姿勢と施工実績等を評価

